

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：融合理工学府基幹工学専攻医工学コース

学年：修士1年

留学先大学：キール大学

現在の学期：Semester1

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	11:00~13:00 British Cultural Studies 13:00~15:00 Biological and Cognitive Psychology
水	10:00~11:00 Introduction to Neuroscience
木	14:00~17:00 Practical and Academic Skills in Bioscience
金	
土・日	

履修科目や近況について

British Cultural Studies は留学生向けの授業でイギリスの歴史や文化について勉強しています。 Biological and Cognitive Psychology では、脳の部位や疾患など専門的な脳科学の授業です。予習の量がかなり多く、授業は予習を前提に進む形式で、クイズやアクティビティが中心です。先生はとても親切で質問をすると“Good question!”と褒めてくれます！Introduction to Neuroscience は神経科学部の1年生には必須の授業となっており、脳の部位や働きなどの基礎的な内容を扱っています。Practical and Academic Skills in Bioscience は実験の授業で、初めての授業で白衣が配されました。毎回の授業でプリントが配布され、それに沿って各自作業するというような形式です。英語を理解することが難しく、毎回苦戦しますが、周りの学生も優しく、いつも助けてもらっています！

Society は Gospel, Salsa, Japanese, K-pop, Neuroscience に入りました。一番驚いたのは Gospel で、メンバーが私と一人を除いて全員アフリカ系イギリス人でした！全員パワフルでとても面白いです。Japanese society では日本が好きなイギリス人にたくさん出会うことができ、友達も出来ました！

寮については、私はお風呂とトイレが自分の部屋にあるものを選びました。家賃はシェアの部屋より2倍くらいですが、シェアのお風呂とトイレにトラブルを抱えている友達が多く、room transfer をする人もいるくらいなので、自分のお風呂とトイレがある部屋

を選んでよかったです。

キャンパスはとても広く、緑が豊かです。スーパーまでバスで15分かかるのが少し不便です…バスにいちいちお金がかかるので3ヶ月乗り放題を購入しようと思っています。

留学開始1~2週間は不安とさみしさでほとんど毎日泣いていましたが、約1ヶ月が経過し、少しずつ慣れてきました。キール大学の先生は本当に優しく、交換留学生には担当の先生のような人がいるのですが、初めてのミーティングの際に私が大号泣しても(笑)相談に乗ってくれ、いつも気にかけてくれます。2週間目は風邪を引きました。イギリスではFresher's fluといって、学期のはじめはみんな風邪を引くそうです笑

現地の学生の話す英語はかなり早く、聞き取るのに苦戦していますが、みんな本当に優しくもっと仲良くなりたいので、少しでも早く聞き取ることが出来るようになってたくさん話をしたいです！



Practical and
Academic Skills in
Bioscience でもらった
白衣



大学の近くにいた牛



大学の中に森があります